

学科名：機械・システム工学科 機械工学コース

学部の教育目的		学科の教育目的				
工学部では、グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者を「グローバルイマジニア」と呼び、人材育成の基本コンセプトとして、安全で安心な社会の創造のための基礎的な知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力に加えて、歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、工学部では、安全で安心な社会の創造に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。		多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成する。				
		学科・コースのDP, CP (◎=DP/CP達成のために特に重要な事項、○=DP/CP達成のために重要な事項、△=DP/CP達成のために望ましい事項)				
DP	学部	(a) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学に関する知識・能力	(b) 各分野の専門技術者として国際社会の中で責任を果たすための専門知識・能力	(c) 産業実践力も含め、多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力	(d) 夢を形にする高度専門技術者に求められる創造力、自己学修力、問題解決能力、協調性、およびコミュニケーション能力を併せた総合力	(e) 技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任に関する理解
	学科	(MSa) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学、情報技術に関する知識・能力	(MSb) 本学科の各コース(機械工学, ロボティクス, 原子力安全工学)における専門的知識・能力	(MSc) 多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力および専門的知識・能力を他分野に応用する能力	(MSd) 工学部の(d)と同じ	(MSe) 工学部の(e)と同じ
	学部	④専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。	⑤専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主な目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースに必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	②「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ④専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。 ⑤専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主な目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースに必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	②「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ⑥4年次に卒業研究を通常の必修科目として配置します。 ⑦初年次教育を充実させるための必修科目を、共通教育及び専門科目に配置し、大学での主体的な学びに必要な基礎的な素養等を修得させるとともに、将来のキャリアについて考える手がかりを与え、学びの動機づけを強化します。 ⑩知識・技能を総合して問題を解決する実践的能力を育成するため、創成教育の科目を設けます。	②「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ⑥4年次に卒業研究を通常の必修科目として配置します。 ⑦初年次教育を充実させるための必修科目を、共通教育及び専門科目に配置し、大学での主体的な学びに必要な基礎的な素養等を修得させるとともに、将来のキャリアについて考える手がかりを与え、学びの動機づけを強化します。 ⑧産業実践力の中でも特に技術経営等についてより深く体系的に学びたい学生のために、副専攻を設けます。 ⑩知識・技能を総合して問題を解決する実践的能力を育成するため、創成教育の科目を設けます。
CP	※DPと特に関係が深いものを抜粋	①1年次前期に、学科共通の専門導入・基礎科目を中心に配置します。 ②1~2年次に、工学全般の基礎である数学や自然科学、情報技術の科目を配置します。 ④1年次後期~2年次に、機械系、知能システム系、原子力系いずれかの基礎となる専門的な科目を中心に配置します。	③1年次後期には、仮配属として学生は機械工学コース、ロボティクスコース、原子力安全工学コースのいずれかに所属します。 ④1年次後期~2年次に、機械系、知能システム系、原子力系いずれかの基礎となる専門的な科目を中心に配置します。 ⑤2~3年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。 ⑥3年次には、本配属として学生は所属コースを決定します。 ⑦3年次に、コースごとにそれぞれ機械工学、ロボティクス、原子力安全工学の高度な専門知識に係る科目を配置します。 ⑧4年次において卒業研究に専念できるように、卒業研究に着手するための要件を設け、これを満たした学生だけが卒業研究を実施できます。	⑤2~3年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。	⑨技術者がグローバルに活躍する上で必要な技術英語に係る科目を4年次に配置します。	
科目名						開講時期

共通教育科目	1	大学教育入門セミナー			◎		1年前期
	2	(第1)外国語科目(英語)				◎	1~2年通期
	3	情報処理基礎科目			◎		1年前期
	4	ものづくり・産業振興・技術経営分野(地域コア科目群)			◎		-
	5	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群)			◎		-
	6	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群) 科学技術と倫理			○	◎	-
	7	原子力・エネルギー分野(地域コア科目群)			◎		-
	8	人間理解・言語コミュニケーション分野(教養教育科目群)			◎		-
	9	歴史・文化理解分野(教養教育科目群)			◎		-
	10	社会経済分野(教養教育科目群)			◎		-
	11	科学技術分野(教養教育科目群)			◎		-
	12	教養専門教育科目群			◎		-
	1	微分積分I	◎				1年前期
	2	線形代数I	◎				1年前期
	3	物理学A(力学)	◎	○			1年前期
	4	微分積分II	◎				1年後期
	5	線形代数II	◎				1年後期
	6	コンピュータ入門	◎				1年後期
	7	コンピュータ演習			◎		2年前期
	8	物理学実験	◎	○			1年後期
	9	応用数学A(微分方程式)	◎				2年前期
	10	応用数学B(フーリエ解析)	◎				2年前期
	11	応用数学C(ベクトル解析)	◎				2年前期
	12	物理学B(電磁気学)	◎	○			2年前期
	13	物理学D(熱・波・光)	◎	○			2年前期
	14	応用数学D(複素関数論)	◎				2年後期
	15	応用数学E(確率・統計)	◎				2年後期
	16	応用電磁気学		○	◎		2年後期
	17	工業日本語I				◎	1年前期
	18	工業日本語II				◎	1年後期
	19	工業日本語III				◎	2年前期
	20	工業日本語IV				◎	2年後期
	21	学際実験・実習I				◎	2年前期
	22	学際実験・実習II				◎	3年前期
	23	放射線安全工学	◎		○		2年後期
	24	知的財産権の基礎知識			◎		3年後期
	25	アントレプレナーシップ論				◎	3年前期
	26	ベンチャービジネス概論				◎	4年前期
	27	フロントランナー			◎	○	3年後期
	28	ものづくり基礎工学		◎	○	○	1年後期
	29	インターンシップ			◎	○	1-4年
	30	海外短期インターンシップI				◎	1-4年
	31	海外短期インターンシップII				◎	1-4年

専門 教育 科目	32	機械・システム工学科概論 I				◎	○	1年前期
	33	物理化学	◎	○				1年前期
	34	情報処理演習			◎			1年前期
	35	エネルギー環境概論			◎			1年前期
	36	はじめての原子力工学			◎			1年前期
	37	機械・システム工学科概論 II			◎	○		1年後期
	38	解析力学	◎					1年後期
	39	機械材料 I			◎			1年後期
	40	電気工学概論		◎				1年後期
	41	計測工学基礎		◎				1年後期
	42	製図基礎	◎					1年後期
	43	材料科学総論		○	◎			1年後期
	44	生物システム入門			◎			1年後期
	45	計算機システム	○		◎			1年後期
	46	材料力学 I	○	◎				2年前期
	47	熱力学 I	○	◎				2年前期
	48	流れ学 I	○	◎				2年前期
	49	製図・CAD基礎	○	◎				2年前期
	50	ロボットと医療・福祉			◎			2年前期
	51	機械材料 II		◎				2年前期
	52	制御工学 I	○	◎				2年後期
	53	機械力学 I	○	◎				2年後期
	54	機械工作実習		◎				2年後期
	55	材料力学 II	○	◎				2年後期
	56	熱力学 II	○	◎				2年後期
	57	流れ学 II	○	◎				2年後期
	58	原子カプラント工学			◎			2年後期
	59	量子力学		○	◎			2年後期
	60	原子炉構造工学入門		○	◎			2年後期
	61	創造演習 I				◎		3年前期
	62	数値解析入門	◎					3年前期
	63	材料力学 III	○	◎				3年前期
	64	流体力学	○	◎				3年前期
	65	伝熱工学	○	◎				3年前期
	66	機械力学 II	○	◎				3年前期
	67	材料強度学		◎				3年前期
	68	制御工学 II	○	◎				3年前期
	69	創造演習 II				◎		3年後期
	70	機械システム技術英語					◎	4年前期
	71	加工学 I		◎				2年前期
	72	機械要素設計 I	○	◎				2年後期
	73	加工学 II		◎				2年後期
	74	メカトロニクス	○	◎				2年後期
	75	機械工学実験		○		◎		3年前期
	76	機械要素設計 II		◎				3年前期
	77	トライボロジー		◎				3年後期
	78	内燃機関工学		◎				3年後期
	79	生産システム工学		◎				3年後期
	80	卒業研究	○	○		◎	○	4年通年

学科名：機械・システム工学 ロボティクスコース

<p>学部の教育目的</p> <p>工学部では、グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者を「グローバルイマジニア」と呼び、人材育成の基本コンセプトとして、安全で安心な社会の創造のための基礎的な知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力に加えて、歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、工学部では、安全で安心な社会の創造に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。</p>	<p>学科の教育目的</p> <p>多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成する。</p>
---	---

学科・コースのDP, CP (◎=DP/CP達成のために特に重要な事項、○=DP/CP達成のために重要な事項、△=DP/CP達成のために望ましい事項)

<p>DP</p>	学部	(a) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学に関する知識・能力	(b) 各分野の専門技術者として国際社会の中で責任を果たすための専門知識・能力	(c) 産業実践力も含め、多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力	(d) 夢を形にする高度専門技術者に求められる創造力、自己学修力、問題解決能力、協調性、およびコミュニケーション能力を併せた総合力	(e) 技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任に関する理解
	学科	(MSa) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学、情報技術に関する知識・能力	(MSb) 本学科の各コース(機械工学、ロボティクス、原子力安全工学)における専門的知識・能力	(MSc) 多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力および専門的知識・能力を他分野に応用する能力	(MSd) 工学部の(d)と同じ	(MSe) 工学部の(e)と同じ
	学部	④ 専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。	⑤ 専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主な目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースで必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。

CP ※DPと特に関係が深いものを抜粋

<p>CP</p>	学部	④ 専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。	⑤ 専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主な目的とします。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。
	学部	(MSa) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学、情報技術に関する知識・能力	(MSb) 本学科の各コース(機械工学、ロボティクス、原子力安全工学)における専門的知識・能力	(MSc) 多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力	(MSd) 工学部の(d)と同じ	(MSe) 工学部の(e)と同じ
	学科 (専門に関わる部分)	① 1 年次前期に、学科共通の専門導入・基礎科目を中心に配置します。	③ 1 年次後期には、仮配属として学生は機械工学コース、ロボティクスコース、原子力安全工学コースのいずれかに所属します。	⑤ 2~3 年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。	⑨ 技術者がグローバルに活躍する上で必要な技術英語に係る科目を4 年次に配置します。	

科目名

開講時期

共通教育科目

1	大学教育入門セミナー			◎		1 年前期
2	(第1)外国語科目(英語)				◎	1~2 年通期
3	情報処理基礎科目			◎		1 年前期
4	ものづくり・産業振興・技術経営分野(地域コア科目群)			◎		-
5	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群)			◎	◎	-
6	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群) 科学技術と倫理			◎		-
7	原子力・エネルギー分野(地域コア科目群)			◎		-
8	人間理解・言語コミュニケーション分野(教養教育科目群)			◎		-
9	歴史・文化理解分野(教養教育科目群)			◎		-
10	社会経済分野(教養教育科目群)			◎		-
11	科学技術分野(教養教育科目群)			◎		-
12	教養専門教育科目群			◎		-

1	微分積分 I	◎				1 年前期
2	線形代数 I	◎				1 年前期
3	物理学A(力学)	◎				1 年前期
4	微分積分 II	◎				1 年後期
5	線形代数 II	◎				1 年後期
6	コンピュータ入門	◎				1 年後期
7	コンピュータ演習	△				2 年前期
8	物理学実験	△				1 年後期
9	応用数学A(微分方程式)	◎				2 年前期
10	応用数学B(フーリエ解析)	◎				2 年前期
11	応用数学C(ベクトル解析)	△				2 年前期
12	物理学B(電磁気学)	◎				2 年前期
13	物理学D(熱・波・光)	△				2 年前期
14	応用数学D(複素関数論)	△				2 年後期
15	応用数学E(確率・統計)	◎				2 年後期
16	応用電磁気学	◎				2 年後期
17	工業日本語 I				△	1 年前期
18	工業日本語 II				△	1 年後期
19	工業日本語 III				△	2 年前期
20	工業日本語 IV				△	2 年後期
21	学際実験・実習 I		△		△	2 年前期
22	学際実験・実習 II		△		△	3 年前期
23	放射線安全工学	△				2 年後期
24	知的財産権の基礎知識		△		△	3 年後期
25	アントレプレナーシップ論		△			3 年前期
26	ベンチャービジネス概論		△			4 年前期
27	フロントランナー		△			3 年後期
28	ものづくり基礎工学		△			1 年後期
29	インターンシップ		△		△	1~4 年
30	海外短期インターンシップ I		△		△	1~4 年
31	海外短期インターンシップ II		△		△	1~4 年
32	機械・システム工学概論 I		◎			1 年前期
33	物理化学		◎			1 年前期
34	情報処理演習	△	△			1 年前期
35	エネルギー環境概論			△		1 年前期
36	はじめての原子力工学			△		1 年前期

専門 教育 科目	37	機械・システム工学科概論Ⅱ		◎			1年後期
	38	解析力学		◎			1年後期
	39	機械材料Ⅰ			△		1年後期
	40	電気工学概論			△		1年後期
	41	計測工学基礎		◎			1年後期
	42	材料科学総論		△			1年後期
	43	生物システム入門			△		1年後期
	44	計算機システム		△			1年後期
	45	製図・CAD基礎		△			2年前期
	46	ロボットと医療・福祉		△			2年前期
	47	量子力学			△		2年後期
	48	原子炉構造工学入門			△		2年後期
	49	数値解析入門		△			3年前期
	50	機械システム技術英語				◎	4年前期
	51	ロボット工学基礎実験Ⅰ		◎	○		2年前期
	52	応用電気電子回路		○			2年前期
	53	デジタル回路		○			2年前期
	54	ロボットプログラムⅠ		○			2年前期
	55	生物とロボット		○	○		2年前期
	56	機械推論		○			2年前期
	57	ロボット工学基礎実験Ⅱ		◎	○	○	2年後期
	58	ロボットプログラムⅡ		○			2年後期
	59	グラフィクスと認知		○			2年後期
	60	人工知能論		○			2年後期
	61	ものづくりを支える科学		○	○		2年後期
	62	制御システム論		○			2年後期
	63	ロボット要素論		○			2年後期
	64	ロボット工学創造実験Ⅰ		◎	○	◎	3年前期
	65	信号処理		○			3年前期
66	ロボットビジョン		○			3年前期	
67	インテリジェントシステム処理論		○			3年前期	
68	現代制御理論		○			3年前期	
69	ロボットメカニズム		○			3年前期	
70	基礎高分子科学		○			3年前期	
71	ロボット工学創造実験Ⅱ		◎	○	◎	3年後期	
72	自律システム		○			3年後期	
73	生物ロボットの認知・情報処理		○	○		3年後期	
74	人とヒューマノイド		○	○		3年後期	
75	人間情報システム		○			3年後期	
76	ブレインマシンインターフェース		○			3年後期	
77	ロボット制御論		○			3年後期	
78	ロボットと非線形動力学		○			3年後期	
79	卒業研究		◎		◎	4年通年	

学科名：機械・システム工学 原子力安全工学コース

<p>学部の教育目的</p> <p>工学部では、グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者を「グローバルイマジニア」と呼び、人材育成の基本コンセプトとして、安全で安心な社会の創造のための基礎的な知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力に加えて、歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、工学部では、安全で安心な社会の創造に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。</p>		<p>学科の教育目的</p> <p>多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成する。</p>				
		<p>学科・コースのDP, CP (◎=DP/CP達成のために特に重要な事項、○=DP/CP達成のために重要な事項、△=DP/CP達成のために望ましい事項)</p>				
DP	学部	(a) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学に関する知識・能力	(b) 各分野の専門技術者として国際社会の中で責任を果たすための専門知識・能力	(c) 産業実践力も含め、多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力	(d) 夢を形にする高度専門技術者に求められる創造力、自己学修力、問題解決能力、協調性、およびコミュニケーション能力を併せた総合力	(e) 技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任に関する理解
	学科	(MSa) 安全・安心社会を創造するための基礎としての数学や自然科学、情報技術に関する知識・能力	(MSb) 本学科の各コース(機械工学、ロボティクス、原子力安全工学)における専門的知識・能力	(MSc) 多様な学問分野にかかわる幅広い知識・能力および専門的知識・能力を他分野に応用する能力	(MSd) 工学部の(d)と同じ	(MSe) 工学部の(e)と同じ
CP ※DPと特に関係が深いものを抜粋	学部	④ 専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。	⑤ 専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースに必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ④ 専門基礎科目は、工学全般の基礎として必須である数学や物理等の科目、産業実践力に関する科目、国際教養力に関する科目等で構成します。 ⑤ 専門科目は「学科専門科目」、「コース専門科目」、「卒業研究」により構成します。学科専門科目は、各学科の基礎(すなわち、工学のオーソドックスな一つの分野の基礎)の学修を通して確かな専門基礎知識・技能を修得させることを主目的とします。コース専門科目は、複数のコースをもつ学科に配置され、コースに必要な専門知識・技術および各分野の技術の展開力の基本を修得させることを目的とします。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ④ 4年次に卒業研究を通常の必修科目として配置します。 ⑦ 初年次教育を充実させるための必修科目を、共通教育及び専門科目に配置し、大学での主体的な学びに必要な基礎的な素養等を修得させるとともに、将来のキャリアについて考える手がかりを与え、学びの動機づけを強化します。 ⑩ 知識・技能を総合して問題を解決する実践的能力を育成するため、創成教育の科目を設けます。	② 「産業実践力」と「国際教養力」に関する科目群を、共通教育科目と専門教育科目を横断して配置します。 ④ 4年次に卒業研究を通常の必修科目として配置します。 ⑦ 初年次教育を充実させるための必修科目を、共通教育及び専門科目に配置し、大学での主体的な学びに必要な基礎的な素養等を修得させるとともに、将来のキャリアについて考える手がかりを与え、学びの動機づけを強化します。 ⑧ 産業実践力の中でも特に技術経営等についてより深く体系的に学びたい学生のために、副専攻を設けます。 ⑩ 知識・技能を総合して問題を解決する実践的能力を育成するため、創成教育の科目を設けます。
	学科 (専門に関わる部分)	① 1年次前期に、学科共通の専門導入・基礎科目を中心に配置します。 ② 1～2年次に、工学全般の基礎である数学や自然科学、情報技術の科目を配置します。 ④ 1年次後期～2年次に、機械系、知能システム系、原子力系いずれかの基礎となる専門的な科目を中心に配置します。	③ 1年次後期には、仮配属として学生は機械工学コース、ロボティクスコース、原子力安全工学コースのいずれかに所属します。 ④ 1年次後期～2年次に、機械系、知能システム系、原子力系いずれかの基礎となる専門的な科目を中心に配置します。 ⑤ 2～3年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。 ⑥ 3年次には、本配属として学生は所属コースを決定します。 ⑦ 3年次に、コースごとにそれぞれ機械工学、ロボティクス、原子力安全工学の高度な専門知識に係る科目を配置します。 ⑧ 4年次において卒業研究に専念できるように、卒業研究に着手するための要件を設け、これを満たした学生だけが卒業研究を実施できます。	⑤ 2～3年次に、専門に係る技術等の修得を目的とする実験・演習科目を配置します。	⑨ 技術者がグローバルに活躍する上で必要な技術英語に係る科目を4年次に配置します。	

科目名							開講時期
1	大学教育入門セミナー			◎			1年前期
2	(第1)外国語科目(英語)				◎		1～2年通期
3	情報処理基礎科目			◎			1年前期
4	ものづくり・産業振興・技術経営分野(地域コア科目群)			◎			-
5	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群)			◎			-
6	持続可能な社会・環境づくり分野(地域コア科目群) 科学技術と倫理					◎	-
7	原子力・エネルギー分野(地域コア科目群)			◎			-
8	人間理解・言語コミュニケーション分野(教養教育科目群)			◎			-
9	歴史・文化理解分野(教養教育科目群)			◎			-
10	社会経済分野(教養教育科目群)			◎			-
11	科学技術分野(教養教育科目群)			◎			-
12	教養専門教育科目群			◎			-
1	微分積分Ⅰ	◎					1年前期
2	線形代数Ⅰ	◎					1年前期
3	物理学A(力学)	◎					1年前期
4	微分積分Ⅱ	◎					1年後期
5	線形代数Ⅱ	◎					1年後期
6	コンピュータ入門	◎					1年後期
7	コンピュータ演習	◎					2年前期
8	物理学実験	◎					1年後期
9	応用数学A(微分方程式)	◎					2年前期
10	応用数学B(フーリエ解析)	◎					2年前期
11	応用数学C(ベクトル解析)	△					2年前期
12	物理学B(電磁気学)	◎					2年前期
13	物理学D(熱・波・光)	◎					2年前期
14	応用数学D(複素関数論)	△					2年後期
15	応用数学E(確率・統計)	△					2年後期
16	応用電磁気学				△		2年後期
17	工業日本語Ⅰ				△		1年前期
18	工業日本語Ⅱ				△		1年後期
19	工業日本語Ⅲ				△		2年前期
20	工業日本語Ⅳ				△		2年後期
21	学際実験・実習Ⅰ			△		△	2年前期
22	学際実験・実習Ⅱ			△		△	3年前期
23	放射線安全工学		◎				2年後期
24	知的財産権の基礎知識			△			3年後期
25	アントレプレナーシップ論			△			3年前期
26	ベンチャービジネス概論			△			4年前期
27	フロントランナー			△			3年後期
28	ものづくり基礎工学			△			1年後期

29	インターンシップ				△			1-4年
30	海外短期インターンシップ I				△			1-4年
31	海外短期インターンシップ II				△			1-4年
32	機械・システム工学科概論 I		◎					1年前期
33	物理化学		◎					1年前期
34	情報処理演習		○					1年前期
35	エネルギー環境概論		○					1年前期
36	はじめての原子工学		○					1年前期
37	機械・システム工学科概論 II		◎					1年後期
38	解析力学		◎					1年後期
39	機械材料 I		◎					1年後期
40	電気工学概論		◎					1年後期
41	計測工学基礎				△			1年後期
42	製図基礎				△			1年後期
43	材料科学総論				△			1年後期
44	生物システム入門				△			1年後期
45	計算機システム				△			1年後期
46	材料力学 I		◎					2年前期
47	熱力学 I		◎					2年前期
48	流れ学 I		◎					2年前期
49	製図・CAD基礎				△			2年前期
50	ロボットと医療・福祉				△			2年前期
51	機械材料 II				△			2年前期
52	制御工学 I		◎					2年後期
53	機械力学 I		◎					2年後期
54	機械工作実習				△			2年後期
55	材料力学 II				△			2年後期
56	熱力学 II				△			2年後期
57	流れ学 II				△			2年後期
58	原子カプラント工学		◎					2年後期
59	量子力学		◎					2年後期
60	原子炉構造工学入門		○		○		△	2年後期
61	創造演習 I		◎			◎		3年前期
62	数値解析入門	○	○		△			3年前期
63	材料力学 III				△			3年前期
64	流体力学				△			3年前期
65	伝熱工学				△			3年前期
66	機械力学 II				△			3年前期
67	材料強度学				△			3年前期
68	制御工学 II				△			3年前期
69	創造演習 II		◎			◎		3年後期
70	機械システム技術英語					◎		4年前期
71	加工学 I				△			2年前期
72	機械要素設計 I				△			2年後期
73	加工学 II				△			2年後期
74	メカトロニクス				△			2年後期
75	機械工学実験				△			3年前期
76	機械要素設計 II				△			3年前期
77	トライボロジー				△			3年後期
78	内燃機関工学				△			3年後期
79	生産システム工学				△			3年後期
80	ロボット工学基礎実験 I				△			2年前期
81	応用電気電子回路				△			2年前期
82	デジタル回路				△			2年前期
83	ロボットプログラム I				△			2年前期
84	生物とロボット				△			2年前期
85	機械推論				△			2年前期
86	ロボット工学基礎実験 II				△			2年後期
87	ロボットプログラム II				△			2年後期
88	グラフィクスと認知				△			2年後期
89	人工知能論				△			2年後期
90	ものづくりを支える科学				△			2年後期
91	制御システム論				△			2年後期
92	ロボット要素論				△			2年後期
93	ロボット工学創造実験 I				△			3年前期
94	信号処理				△			3年前期
95	ロボットビジョン				△			3年前期
96	インテリジェントシステム処理論				△			3年前期
97	現代制御理論				△			3年前期
98	ロボットメカニズム				△			3年前期
99	基礎高分子科学				△			3年前期
100	ロボット工学創造実験 II				△			3年後期
101	自律システム				△			3年後期
102	生物ロボットの認知・情報処理				△			3年後期
103	人とヒューマノイド				△			3年後期
104	人間情報システム				△			3年後期
105	ブレインマシンインターフェース				△			3年後期
106	ロボット制御論				△			3年後期
107	ロボットと非線形動力学				△			3年後期
108	放射化学・放射線化学		○					2年前期
109	核燃料サイクル工学入門		◎					2年前期
110	原子炉物理学序論		◎					2年後期
111	放射線の医療応用		○					2年後期
112	放射線化学・生物学		○					2年後期
113	原子炉工学		◎					3年前期
114	原子力安全工学実験 I		◎			◎		3年前期
115	原子力材料学		○					3年前期
116	核燃料工学		○					3年前期
117	リスク評価概論		○					3年前期
118	原子力安全工学実験 II		◎			◎		3年後期
119	原子炉制御工学		○					3年後期
120	放射線防護工学		○					3年後期
121	廃止措置工学		○					3年後期
122	原子力防災論		○					3年後期
123	原子力・耐震耐津波工学		○					3年後期
124	卒業研究		◎			◎		4年通年

専門教育科目